



## 赤星 眞照さん

Akahoshi Masateru

〔有安区〕

あかほし・まさてる / 町教育  
長。上益城郡を中心に、町内  
では甲佐小、龍野小、乙女小、  
白旗小、甲佐中などで教職を  
務め、4月から現職に就任。

## ふるさとに輝く笑顔を広げる 健康な子どもたちをはぐくむ

「多くの高齢者が暮らす本町は、人材が豊富な町だと見えます。お年寄りも、いろんな技術や知識、知恵を持っている。それらを学校の中に取り込んで、地域の人たちのかかわりから学べることをもっと活用してい

きたい」と語るのは、4月に町教育長に就任した赤星眞照さん。「学校の教育と地域のさまざまな活動が融合し交流することで、もっと本町の教育が力強いものになるのではないかと思います」と、教育と地域との積極的で親

密な連携の構築を模索する。

自らの職務の本分として、「15歳の3月、中学3年生のときに笑顔で自分の道をスタートできるように、子どもたちを育てたい」と赤星さん。「それは、小学校入学から学校と町教育委員会との連携と地域のバックアップがあって、初めてできること。素晴らしい姿を見せて中学を卒業するときは、『自分の町は素晴らしいな』と思って旅

立ってくれているのではないかと語る。また、「そういう子どもたちの姿を地域の人々が見たら、教育に対する地域の信頼も、さらに高まるのではないかと」と、本町の教育を取り巻く輪が大きな円を描くことを願う赤星さんが教育の基本として大切に考えていることは、「遊びを大事に」ということ。教育に関する技術も大切だけど、一緒に遊ぶときに子どもたちが見せる、ありのままの本当の姿や心を理解して、その結果築くことができる子どもたちとの人間関係が教育には大切」と話す。

長年にわたり教育に関わる赤星さんの一番の喜びは、「触れ合うことで、子どもたちの笑顔に出会えること。それが、何よりうれしい」と顔がほころぶ。

今後の抱負について、「まず子どもたちには、しっかり食べる力を身に付けさせたい。健康な体があって初めて、考える力、動く力が生まれる。よく食べ、よく遊び、よく学ぶ。そんな子どもたちを育てたい」と赤星さん。「ふるさとに笑顔を広げる子どもたち。そういう町になったらいいな」と笑顔で語る。